



みちくさ

放浪篇 No.5

平成 29 年 8 月 9 日

ストレスチェック



職場でストレスチェックなるものを実施しました。これは去年から同じものを現場で実施しました。職場で仕事に満足しているか？上司との関係は上手く進んでいるか？等、一連の質問に答えていくものです。昨年までは、上司の立場であったわけで、全体の結果が後日送られてきていました。この結果についてはさほど気にもとめていませんでしたが、でもこういうものについて、部下の評価が気になるとか、職務上の上司となる市教委からはどう思われているのだろうかとか、いちいち気にする人も居るのでしょうか。とにかくいろいろんな年代層が混じっている職場ですので、気持ちよく仕事が

できればいいし、気持ちよく仕事をしていただけることが上司の仕事だと思います。

私たちの職場は、子どもの教育を司る場所です。教室や学校を一人一人が大切にされる場としてどのように作っていくかを忘れてしまう人は、はっきりいって上司失格なのでしょう。

先週末には午前、午後と、管理職を目指す人たちの試験が行われていました。

フェイクニュース

新聞とは中立の立場で書かれていると、学生の頃まで、疑うことも無くそう思っていました。さすがに勤めてからは、何となく右とか左とか、少し色がついているのだと分かるようになりました。新聞社も新聞を買って読んでもらうのが前提であり、そういう意味では営利を求める企業の一つです。そして編集会議をした上で出てくる記事でしょうから、社の方針に則って制作されているものでしょう。でもフェイクはいけません。ないことをあつたとか、あつたことをなかつたとか、まるっきり事実を無視して書き始めたら、それはマスコミの終わりを意味するのでしょうか。毎日のように国会周辺で様々なニュースが流れます。今までこんなに政治に興味あつたかなと思うくらい、自分でもいろいろなニュースを目にします。政治に関する報道が、あたかもワイドショー化しているのではないかと危惧することも多いこの頃です。新聞紙上が伝えることが、週刊誌と同じレベルに成り下がってしまったら、日本のマスコミは終焉を迎えるのでしょうか。



愛媛県に獣医学部を創設する件で、いろいろな人たちが参考人招致をされ、国会の場で語っている映像を目にしました。イエスとノーの両極端の立場の人が呼ばれているのに、その後の報道に片方だけの

主張がでかでかと掲載されたら、それはどう考えてもおかしいです。片方の人は、あたかも国会の場に居なかったかのような、そんな錯覚さえ覚えます。

今はネットの時代です。TVのニュースに出てこない映像も、きちんとネットには表れています。しっかり国民として、フェイクニュースに騙されない確かな目をもつ必要があるかもしれません。追及する国会議員の信念とか姿勢も問われます。なんだか、「出て行け」などというおよそその場にふさわしくない言葉を連呼した、名前を聞いたことのある議員の映像も、ネットでしっかりと見ることができました。

(あの人確かお医者様なのに) この問題、いったいどちらが正しいのでしょうか。それは分かりませんが、色がついているニュースなので、しっかり色を見極めて読み進めていかなければなりません。ただ、こちらもそんなに暇はないので、はっきり言ってどうでもいいのですが、ただしっかり北朝鮮には対応して欲しいものだと思います。少なくとも北からのミサイルにあたって死ぬことだけは避けたいです。

丸太切り



原木を購入したので、薪をつくるためにはそこから丸太にして切り出さなければならないのです。ここではチェーンソーが活躍します。このチェーンソーという機械については、慣れてしまえばどうってことありませんが、購入するまではどうしようかけっこう悩みました。なにせのこぎりの刃がぐるぐるエンジンの力で回りますので、危険極まりない道具です。キックバックといって、刃を当てる角度とか位置が悪いと、木に当てた刃がはじき返される

ような時もあるとのことで、慎重にならざるを得ません。

毎度欲張らず、少しずつ木を切り出しています。未だにチェーンソーの使い方が上手になりません。太ければ太いほど、切りづらいなと思います。丸太の上に刃を当てて切り始めていくと、木の自重によりのこぎりの刃が挟まってしまいます。それを避けるためには、木を転がしながら切るか、丸太の下を先に切ってから上を切るようにするのがいいようです。

と、頭ではいろいろ考えられますが、中腰でチェーンソーを切るというのはけっこうハードな労働です。